



第20回記念 松本手まり時計まつり



令和元年 7 月 1 日現在	
世帯数	: 814 世帯
人口	: 1491 人
男	: 720 人
女	: 771 人



カエルストラップ作りの様子  
講師 伊東祐次郎さん (中町3丁目)

令和元年という節目の年に記念すべき第20回を迎えた『松本手まり時計まつり』が、5月25日(土)、26日(日)の2日間開かれました。

この祭りは、地域文化の創造と魅力あふれる中心市街地の活性化に寄与するため、松本手まり時計まつり実行委員会が中心となり、伊勢町商店街振興組合やMウイング関係者等、多くの人々の協力により、伊勢町通りとMウイングで行われました。

Mウイングは、伊勢町の区画整理事業で計画され、平成11年3月竣工。その記念行事が祭りという形になり、手まり時計は、祭りのシンボルとなつて今日に至っています。

第一地区公民館では、花や緑の魅力を発信しようと、地区の緑化推進協議会と共催して「お花の寄せ植え講座」を開きました。

また、第20回を記念した企画では、公民館活動の展示やカエルストラップ作りの体験を行いました。部屋の周囲には昔のまちなみの写真を展示し、「昔はこうだったなあ」、「ずいぶん変わったなあ」と、写真を見ながら感慨にふける人が印象的でした。

また、第20回を記念した企画では、公民館活動の展示やカエルストラップ作りの体験を行いました。部屋の周囲には昔のまちなみの写真を展示し、「昔はこうだったなあ」、「ずいぶん変わったなあ」と、写真を見ながら感慨にふける人が印象的でした。

また、第20回を記念した企画では、公民館活動の展示やカエルストラップ作りの体験を行いました。部屋の周囲には昔のまちなみの写真を展示し、「昔はこうだったなあ」、「ずいぶん変わったなあ」と、写真を見ながら感慨にふける人が印象的でした。

福祉ひろばでは、サークルの作品展示や体験コーナー等が設けられ、テーブルで親子が、毛糸のミニぼうし作りをして楽しんでいました。他にも囲碁やマージャンのコー

ナリーがあり、「福祉ひろばは、こんな活動をしているのか」と、興味を持ち体験していく人も多くいました。

他の部屋にも市内各地から、仏像の彫刻や松本を題材とした「いろはカルタ」、和歌、手作り人形他、多くの作品展示がありました。

Mウイング前の野外ステージでは、音楽ライブやパフォーマンス等が行われ、大勢の人が足を止め、耳を傾けていました。

歩道には出店が並び、何があるか見て回り、感じるものがあれば手にとって見る等して、店の人と話し交渉する、いつもの風景が見られました。

店は、町の歴史と共に歩み続けている人々により営まれ、繋がりを保とうと、努力を続けています。



福祉ひろば「ふれあいコーナー」の様子

Presented by  
**視聴覚委員会**



「信州花フェスタ2019」のサテライト会場として、地区内でも色鮮やかな花や緑で包まれました。

<開催期間 5月25日(土)~6月8日(土)>

まちかどフォト



「花時計公園」



「松本駅前広場」

# ようこそ第一地区福祉ひろばへ

Mウイング4階にある第一地区福祉ひろばでは、町会役員や関係団体の皆さんによる企画委員会が中心となって、いろいろな講座を開いています。お気軽にご参加ください！



**男の料理教室**  
不定期 年4回

福祉ひろばの男性参加を増やそうと昨年度から始めました。先生に教えて頂きながら、酒のおつまみ等を楽しんで作っています。今後は、10/7(月)、11/18(月)、1/15(水)を予定しています。



**ふれあい健康教室**  
第4金曜日13:30~

毎月開催しています。年2回「健康のつどい」として、地区の体育協会と共催で行い、6月は中央地区と合同でスポーツ吹き矢等をして楽しみました。2月は、ニュースポーツや楽しいレクリエーション等を計画しています。是非一度参加してみてください。

毎月の講座内容は「第一地区地域だより」をご覧ください。



## ひろばサークル紹介「粘土サークル」



**粘土制作サークル** 代表/竹内睦美  
活動日 第2木曜日13:00~

焼かない陶器といわれる粘土を使って色々な物を楽しんで制作しています。「カゴいっぱいの花」を只今制作中です。

## ひろばサークル紹介「つくし会」



**書道サークル** 代表/松浦一男  
活動日 第1・3火曜日10:00~

今年3月から教えていただいている田中洋子先生は、故丸山木拳先生と一緒に長く来ていただいていたので、変わりなくご指導いただきありがたいです。

**お仲間募集中!** サークルの見学や参加を希望される方は、福祉ひろば(電話:39-1173)までお問い合わせください。

初春の令月にして、氣淑く  
風和ぎ…元号「令和」の出典  
万葉集の和歌。「令月」とは「よ  
き月」の意、「風和ぎ」の和  
は「穏やか」の意。令和元年  
も3カ月目。昭和は戦争と復  
興の時代、平成は経済・社会  
が成熟の時代、そして令和に  
は、国際社会の中で日本が香  
り高く輝く時代となつてほし  
いとの思いが籠められている  
とのこと。最近の研究で、日  
本の歴史が各処見直され、例  
えば縄文時代は1万年続い  
た、自然と調和し、争いの少  
ない文明時代。徳川時代も、  
文化レベル・道徳意識が高く、  
庶民の識字率や犯罪の少なさ  
が国際的にもトップレベル  
だったこと等が知られるよう  
になりました。また、このた  
びの改元の話題で、日本が世  
界最古の国であり、我が皇室  
が一千年以上の歴史のある世  
界最古の王統であること等が  
国際的にも知られるようにな  
りました。令和の時代の竿頭  
に立つて、我が国が国際社会  
の中で、軍事や経済でなく、  
平和と文化をもつてリーダー  
シップを発揮してゆく夢をみ  
んなで共有したいものです。

